

令和2年11月30日

## 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム・ひなたぼっこえびすヶ丘

施設種類：認知症対応型共同生活介護

会議開催日時：令和2年 11月 26日（木）14：00～15：00

開催場所：ひなたぼっこえびすヶ丘

出席者：

（人数）

利用者	0人	知見を有する者等	0人
利用者家族	0人	地域包括支援センター職員	0人
地域住民の代表	2人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			2人

### 【行政からの伝達事項】

#### ○コロナウイルスについて

- ・発熱時は主治医に連絡し保健所の指示にて日赤受診
- ・初期症状があればコールセンターに電話し保健所の指示にて日赤受診
- ・島根県としてコロナウイルス受け入れ施設は玉造・少年自然の家 250床確保している（益田市は場所は公表していないが確保は出来ている）

### 【ホームの近況・取り組み】

#### (入居者状況)

入居者9名（女性 8名 男性 1名）

平均年齢 90歳 平均介護度 2.4

- ・入退院～なし
- ・入退居～なし

### 【活動状況】

- ・散歩・日光浴・ドライブ・訪問カット
- ・計算ドリル・新聞折り・縫物・塗り絵・書写

- ・ 体操・歩行訓練・ラジオ体操
- ・ ホーム行事～茶話会・紅葉巡り（美都・三隅の龍雲時・ファクトリーパーク）  
餃子作り・団子作り・角寿司作り・ホームでうどん屋開店  
芋掘り・吊るし柿作り・畑作り

### 【教育】

勉強会～看取りの勉強会  
 コロナウイルス感染症研修会

### 【事故・ヒヤリハット・苦情】

- ・ 事故 1件（転倒）
- ・ ヒヤリハット 1件（義歯紛失しそうになる）

### 【その他】

#### ○看取りについて

ここで最期まで看て欲しい方もおられる。高齢でもあり、入居年数が増すと段々と介護度も高くなってくる。食事も摂りづらくなった時、ホームで対応していくに当たり、看取りの勉強会を行った。

看取りに対しては職員も不安な面もあるが、長年一緒に暮らしを共にし、希望があれば出来るだけ最期まで看たいという職員の意見もあった。入居者の方の状態や家族の方の思い、医師の意見や協力等を確認しながら、一番良い方法を丁寧に検討していく事や職員の不安解消をしていく体制等も職員同士で意見交換した。

#### ○コロナウイルス対策について

(地域の方から)

\*コロナウイルス対策はどのように行っているか



・ 研修会の内容を職員会議で伝達し、ホームで発熱や風邪症状を発症した場合のマニュアルを作成した。

・ 居室対応とし、ガウン・食器に代わり使い捨て容器の準備・消毒等の一式をまとめたものを普段から準備しておき、すぐに使用できるようにしている。

・ 面会については、県内の方の面会は出来るようになった。県外の方はリモート面会で対応している。

\*嚥下の悪い方に対してはどのようにしているか



入居者の方の咀嚼や嚥下状態に応じ、食べやすい形態にし、状態によっては度々

形態を変更したり、食事介助を行ったりしている。

\*ゴミステーション利用についてはどのようにしているか



ホームのゴミは業者に取りに来てもらっている為、地域のゴミステーションにだしてはいない。

\*地域行事について

- 毎年恒例のしめ縄作りは中止  
今のところ行事再開予定はない
- 地域で作る野菜を毎週月曜日に販売しているので、利用してくださいと情報を頂く。